



ほのおかこども園
 令和3年6月発行
 住所:茂原市本納 3302-1
 電話:0475-34-3155

ほのおかだより

入園・進級から早いもので2か月が経ちました。子どもたちは成長していくにつれ、様々なことを理解し、出来るようになっていきます。大人の「こうなってほしい」という「自分目線」の思いが、子どもたちを急かしてしまっていることはないでしょうか？一見悪戯に見える行動にも、子どもたちなりの考えがあるはず。 「もしかしたら、こういうことを伸ばしたいと思っているのかも・・・」と見方を変えた「相手目線」で関わっていききたいものです。

お知らせ

- 6月からブログをはじめます。
- 「すくすくどろんこの会 ほのおかこども園」のホームページからアクセス可能です。
- ※ブログへの写真掲載に不都合のある方は、園までお知らせください。
- 屋宜明夏先生が一身上の都合により、ご退職されることになりました。

6月の行事

- ・6月誕生会
- ・避難訓練
- ・発育測定
- 22日(火)・・・らっこ、いるか、くじら
- 23日(水)・・・ひよこ、うさぎ、こぐま
- 24日(木)・・・きりん、ぱんだ、らいおん

おたんじょうび おめでとう

【保育園】 ひよこ 2名
 きりん 4名

うさぎ2 4名

らいおん 1名

【幼稚園】 いるか 1名

くじら 3名



クラスの様子

うさぎ組
ひよこ組

新しい環境に少しずつ慣れていき、先生に笑顔を見せられるようになった、ひよこ・うさぎ1組さん。一緒に過ごしているお友達にも少しずつ興味を持ち始め、遊んでいる様子を観察したり、うさぎ組さんがひよこ組さんにおもちゃをあげたりする場面が見られ、微笑ましいです。外遊びでは、滑り台、ブランコ、砂場、ボール等といった色々な遊びをそれぞれ楽しむ様子が見られます。またひよこ組さんは芝生の上をハイハイしたり、花を見て自然に触れる姿もあります。これから梅雨に入り、室内遊びが多くなっていきますが、室内でも怪我がないよう身体を動かし、みんなで楽しく過ごしていきたいと思ひます。

うさぎ組

お外が大好きなうさぎ組さん。泣いていても「お外に行こうか？」の一言で「お外？」とあっという間に笑顔に大変身！ついこの間までは汽車ポッポの遊具にやっと登れるようになったな...と思っていたら、今では大きな遊具を幼児組さんに混ざって頑張って登り、楽しそうにすべり足を滑れるようになりました。また、カエルやダンゴ虫、アリ等を見つけると、まだ触れることは出来ないものの目をキラキラさせて興奮しながら眺めていました。

ぱんぱん組

新年度が始まり2か月が過ぎました。生活リズムも身につけてきて朝の身支度や外遊びの準備など、自分で出来ることが増えてきました。「やってみたい」という思いを大切に、やり遂げた時の笑顔はキラキラしています。外遊びでの1コマ...「みんなで川を作ろうよ」の声で穴を掘り、水を流し、少し大きめの水たまりが出来ました、すると「虫さんたちのプールだよ！」と教えてくれました。その日は暑かったこともあり、子ども達の優しさにほっこりしました。

きりん組

仲間意識が深まり「〇〇ちゃん一緒にやろう」と誘い合いながら遊ぶ微笑ましい姿が増えてきました。男の子のプームはプラレール！女の子はおままごと。「かーして」「もうちょっとまってね」など言葉のやり取りも多くなり、子ども達の成長を感じる毎日です。バスで行った白子自然公園・・・ちっちゃな滑り台や遊具には目もくれず一番大きなアスレチック遊具へまっしぐら。改めてきりん組の逞しさに感心してしまいました。これからも子ども達の「やってみたい」という気持ちをひろい、沢山の体験ができるといいなと思ひます。

ぱんだ組

お当番活動では、より意欲も出てきて「ほかにお手伝いする事ない？」と頼もしい一言も聞かれます。でも、まだ人前に出ると緊張してしまうお友だちもいて、一人ひとり自分のペースで出来るようにと思ひています。5月からはさみの練習を始めました。最初は線から、慣れてきたらカーブも切っています。最初は「出来な〜い」と言っていた子も、少しずつ自分なりに真剣に切っている姿が見られ、成長を間近で感じ、嬉しく思ひます。

らいおん組

新年度のスタートから早くも2か月が経ち、新しい生活に慣れてきたようです。過ごしやすいわやかな季節になり、同じ5歳児のくじら組とも散歩へ行っています。その際、一緒に手をつなぐと自然にお互いの名前を聞き合い、春の草花、虫を見つけて会話をしながら歩いています。園庭で会うと名前を呼び合い、一緒に鬼ごっこ、雲梯、ブランコ、鉄棒など、一緒に体を動かして遊んでいる姿が見られるようになりました。職員も子ども達一人ひとりの気持ちにゆっくり関わり、信頼関係を深めていきたいと思ひます。